

2024年度

環境活動レポート

運用期間 (2024年1月～2024年12月)

株式会社 イーシーアイ

発行日 2025年 3月 21日

登録事業所の概要

① 事業所名及び代表者名

株式会社イーシーアイ
代表取締役 山本和宏

② 所在地

本社 〒066-0023 北海道千歳市寿3丁目11番20号
TEL 0123-22-3560
札幌事業所 〒003-0849 札幌市白石区北郷2384番2
TEL 011-872-3200
菊水事業所 〒003-0803 札幌市白石区菊水3条5丁目5番18号
TEL 011-831-7721

③ 環境管理責任者及び担当者氏名連絡先

環境管理責任者 : 山本 裕次
事務局 : 山本 弘美
連絡先 TEL 011-872-3200
FAX 011-872-3203
E-mail: h.yamamoto@eci-hokkaido.co.jp

④ 事業内容

電気通信工事業 北海道知事許可(般一6)石第09406号
電気工事業 北海道知事許可(般一6)石第09406号
電気製品およびOA機器販売 本社・札幌事業所・菊水事業所

⑤ 沿革

創業 昭和54年12月

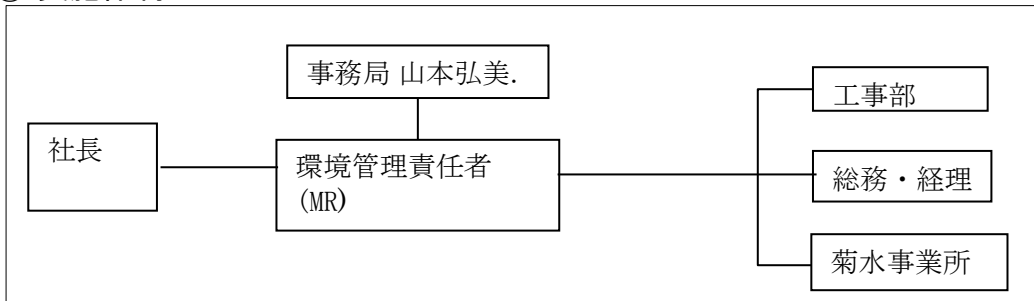
⑥ 事業規模

資本金 2000万円
従業員 10人
売上高 160百万円 (2024年度: 2024年1月~2024年12月)
床面積 337㎡ (倉庫含む)

⑦ 事業年度

6月~3月

⑧ 実施体制



構成要素	役割・責任及び権限
代表者	<<社長、専務>>会社を代表し、会社業務の全ての執行を統括する 1. EA21環境マネジメントシステムの実施及び管理に不可欠な資源の提供、資源には、人的資源及び専門的な技能、技術並びに資金を含む 2. 環境方針の作成
環境管理責任者(MR)	<<山本 裕次>> 1. EA21に従った環境マネジメントシステムの要求事項の確立、実施、維持 2. 代表者(社長)への実績報告を含む見直しのための報告 3. EA21環境マネジメントシステムの運用実施
事務局	<<山本 弘美.>> 1. 環境管理責任者のサポート 2. 環境管理責任者の指示による文書・記録の作成 3. 文書・記録の管理
各担当責任者	1. EA21環境マネジメントシステムの運用実施 2. 環境管理責任者の指示による文書・記録の作成

株式会社イーシーアイ 環境経営方針

《基本理念》

株式会社イーシーアイは、環境問題への取り組みが重要問題であることを認識し、当社の事業活動である電気・電気通信工事を通して、自然豊かな北海道の環境を守り、地域社会へ貢献することを努めます。

《行動方針》

1. 省資源、省エネルギー、リサイクル活動の推進をします。
 - ①水、電気、化石燃料の削減
 - ②電気・電気通信工事における産業廃棄物の削減、適正な管理・処理。
 - ③古紙のリサイクル、用紙類使用量の削減
 - ④資源ゴミのリサイクル化、エコマーク・グリーン製品購入。
 - ⑤社内照明のLED化を進めます。
 - ⑥環境配慮製品の販売・施工の促進。
2. 環境関連の法規等を遵守します。
3. この環境方針は全社員に周知させ、環境保全活動の意識向上を図ります。
4. 環境経営の継続的改善を行います。

2024年9月2日（改定）

株式会社イーシーアイ
代表取締役 山本和宏

環境目標

削減目標は前年より1%削減する(ただし販売促進は前年値を目標とする)

項目	単位	目標値		
		基準値(前年値)	2024年	
二酸化炭素総排出量の削減	kg-CO2	57,898	57,319	
購入電力	kg-CO2	7,552	7,476	
自動車燃料使用量	ガソリン	kg-CO2	9,585	9,489
	軽油	kg-CO2	32,220	31,898
環境配慮製品の販売・施工促進販売	万円	3,103	3,103	

中期環境目標

項目	単位	目標値				
		基準値	2024年度	2025年度	2026年度	
二酸化炭素総排出量の削減	kg-CO2	57,898	57,319	前年値1%減	前年値1%減	
購入電力	kg-CO2	7,552	7,476	前年値1%減	前年値1%減	
自動車燃料使用量	ガソリン	kg-CO2	9,585	9,489	前年値1%減	前年値1%減
	軽油	kg-CO2	32,220	31,898	前年値1%減	前年値1%減
環境配慮製品の販売・施工促進販売	万円	3,103	3,103	前年値	前年値	

- ・電気使用量の削減については、無駄をはぶき、省エネを推進します。
- ・一般廃棄物の削減については2011年度で限界として分別ルールを徹底し再資源化を図ることとし、目標設定は不要としましたが、ルールを決め取組は継続致します。
- ・産業廃棄物については、現場の数により増減が激しい為、目標設定せず取組のみ継続します。
- ・水使用量の削減については、もともと使用量が少ないことと今までの運用でこれ以上削減ができないことがわかりました。目標設定は不要としました。無駄にしないルールを決めて取組は継続致します。
- ・灯油の使用量削減については気候・天候に左右されるうえ、これ以上削減ができないことがわかりましたので、目標設定は不要としましたが、無駄にしないルールを決めて取組は継続致します。
- ・化学物質の取り扱いが無い為、目標の設定は不要とします。

運用期間の実績及び取り組み結果の評価

運用期間(2024年1月~2024年12月)の実績及び取り組み結果の評価

項目	単位	目標値	実績値	評価
二酸化炭素総排出量の削減	kg-CO2	57,319	50,568	○
購入電力	kg-CO2	7,476	8,192	×
自動車燃料使用量	ガソリン	kg-CO2	9,489	○
	軽油	kg-CO2	31,898	25,246
環境配慮製品の販売・施工促進販売	万円	3,103	6,227	○

目標達成—○ 目標未達成—×

二酸化炭素排出係数は0.535kg-CO₂/kWhです。(北海道電力2022年度)
総二酸化炭素排出量(2024年度): 50,568kg-CO₂

評価

- ・購入電力は環境経営計画を遵守できたが、遠方の現場が減り事務所の滞在時間が増え増加した。
- ・軽油使用量は遠方の現場が減った為、大幅に減少した。
- ・環境配慮製品の販売はLED照明が減少し、省エネ型エアコンの取り付けが大幅に増加した。
- ・環境経営計画は遵守することができた。

環境活動計画の内容と評価と次年度の取り組み

環境方針及び環境目標を達成する為に下記環境活動を設定し環境活動を推進します。
また、環境活動への取組みを2020年1月より実施し、環境保全活動を推進していきます。

取り組み項目	活動内容	評価
化石燃料の削減	・アイドリングストップを実施	○
	・急発進.急加速.急停車の禁止	○
	・車両整備の徹底	○
	・現場通勤ルートの効率化	○
	・車両冷暖房の控えめ使用	○
	・エコドライブの徹底	○
	・出発時の2重確認を実施し無駄な出戻りを阻止する。	○
電気.ガス.灯油使用量の削減	・昼休みや不要な照明は消灯	○
	・OA機器の不在時の電源off	○
	・不使用時の電気製品のコンセントプラグは抜く	○
	・コピー・FAX複合機を節電モードにする	○
	・ストーブの設定温度を低くする	○
	・夏は窓を開け自然の風をとり入れる	○
	・お湯を出しっぱなしにするなどガスを無駄に使用しない	○
	・エアコンは27度に温度設定。 ・社内照明のLED化を進める	○
産業廃棄物排出量の削減	・金属・電線類の分別回収による資源化	○
	・資源ゴミはリサイクルされるよう適性処理	○
	・産業廃棄物の減量化	○
	・小型充電式電池の回収による資源化	○
	・電材も、再利用可能なものと不可の物を分別し廃棄することに変更。	○
	・発泡スチロールは、他の産廃と分けて収集する。	○
一般廃棄物排出量の削減	・古紙のリサイクル化	○
	・ダンボール用紙のリサイクルの徹底	○
	・コピー用紙の裏紙使用	○
	・ビン・缶・ペットボトルなど市の回収基準にしたがって分別を徹底	○
節水及び排水量の削減	・節水の徹底	○
	・社用車洗車の際 水を出しっぱなしにしない	○
	・水道配管から漏洩していないことを定期的に確認する	○
	・節水シールを貼り意識をたかめる	○
グリーン購入	・事務用品等は通販でエコラベル付を購入する	○
環境配慮製品の販売 施工促進	・お客様へのLED照明の提案	○
	LED照明機器の販売と施工	○

取り組み内容は次年度も引き続き継続します。

環境関連法規制等の遵守状況及び 訴訟等の有無

- ・浄化槽法
- ・廃棄物処理法
- ・札幌市・千歳市火災予防条例
- ・札幌市・千歳市の一般事業系廃棄物に関する条例
- ・道路運送車両の保安基準
- ・一般高圧ガス保安規則(アセチレンガス)
- ・特定家庭用機器再商品化法

環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
訴訟等はありません。

代表者による全体評価と見直しの結果

- ・電気使用量が目標未達の為、引き続き電気使用量の削減
(残業削減・空調など)をお願いします。
- ・環境方針の変更はありません。(期中に変更した為)
- ・今期も環境配慮製品の販売に注力してください。
- ・その他の目標は達成しているので引き続き継続してください。
- ・環境経営計画も昨年同様の継続してください。
- ・昨年から目標基準値を変更しています。本年も同様をお願いします。